

川上委員別シート1

淀川水系流域委員会淀川部会
検討課題・検討項目の提案

2001年10月3日

淀川部会委員 川上 聡

・淀川部会の検討対象

1. 琵琶湖・淀川（水系）
 - （1）木津川水系（上流・中流・下流） 上中下流の区間
青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダム・高山ダム・（川上ダム）
布目ダム
 - （2）宇治川水系（瀬田川～宇治川）
天ヶ瀬ダム
 - （3）桂川水系（上流・下流）
日吉ダム
 - （4）淀川水系（三川合流点～河口部）
淀川大堰
 - （5）琵琶湖水系（南湖・北湖・内湖）

2. 琵琶湖・淀川（流域）

3. 水源

- （1）森林
- （2）地下水・伏流水

4. 海域

- （1）大阪湾
- （2）瀬戸内海

・検討項目

1. 現状の把握
2. 問題点の抽出
3. 課題の設定
4. 対策の検討
 - （1）ハード・ソフト
 - （2）重要度・優先度・緊急性
 - （3）効果と評価 短期／長期的効果と評価
 - （4）コスト・社会的合意
 - （5）社会的影響：プラス／マイナス
 - （6）維持管理
 - （7）パートナーシップ・役割分担

・検討課題

1. 総論

- （1）河川整備の目的・理念・哲学・夢
- （2）水循環・物質循環
- （3）流域の社会システム・土地利用
- （4）今後の河川管理のあり方
 - 1）基本
 - ・水循環：山～川～海の連続性を考える
 - ・パートナーシップ・住民参加・役割分担
 - ・河川に関する意識の向上
 - 2）総合治水
- （5）河川整備
 - 1）直轄区間・非直轄区間
 - ・省内他部局との関連・連携・調整
 - ・例：道路局～道路、橋梁
 - 自然・景観配慮デザイン
 - 例：淀川三川合流点の巨大な二階式橋梁は最悪のケース
 - 2）府県や他省庁の管轄分野との調整・連携
 - 3）他の計画等との関連・連携・調整
 - ・都市計画
 - ・下水道計画
 - ・その他
 - 4）公共事業のあり方
 - ・実際の必要性・有効性の審査

川上委員別シート2

- ・社会的合意の獲得
- ・ローコスト化
- ・ハードからソフトへの移行
- ・パートナーシップ・住民参加・役割分担
- ・真のPFIとは？
- ・地方分権・市町村合併とのかねあい
- (6) 住民意見の聴取・反映方法
- (7) 緊急性ある問題への対応
- (8) 策定した河川整備計画のフォローアップ
 - 1) 整備の方法
 - ・パートナーシップ
 - ・住民／行政の役割分担
 - 2) 維持管理
 - ・パートナーシップ
 - ・住民／行政の役割分担
 - 3) 予算配分
- (8) 策定した河川整備計画の見直し・改訂
 - 1) 範囲
 - 2) 時期・周期
- 2. 各 論
 - (1) 治水
 - 1) 堤防：破堤・越水・漏水・洗掘
 - 2) 河道容量・洪水流量
 - 3) 河道変動
 - 4) ダム
 - ・ダムの安全性
 - ・耐震性
 - ・寿命
 - ・テロ対策
 - ・ダム管理
 - ・洪水制御システム
 - ・渇水対策
 - ・堆砂対策
 - ・低温水
 - ・環境保全
 - ・外来生物の駆除
 - ・環境復元
 - ・ダム魚道設置
 - ・自然環境モニタリング
 - ・ダムの必要性
 - (1) 進行中のダム建設
 - 1) 丹生ダム（琵琶湖水系高時川）
 - 2) 川上ダム（木津川水系前深瀬川）
 - 3) 大戸川ダム（瀬田川水系）
 - (2) 水系における今後のダムの必要性
 - ・ダムの撤去
 - 5) 災害防止
 - ・水害　　水害の許容？
 - ・局所的集中豪雨による災害対応
 - ・気候変動
 - ・都市型水害
 - ・水防団
 - ・現状・住民意識・技術／精神の継承・現代的存続の方策
 - ・高潮
 - ・台風の大型化傾向
 - ・温暖化による海面上昇の影響
 - ・地盤沈下
 - ・地震
 - ・液状化現象対策

川上委員別シート3

- ・津波
- ・水害防御林（樹林帯）の育成・管理
- ・河川監視の自動化
- ・都市計画との調整
- ・遊水池
- （２）利水
 - １）水需要の減少
 - 水道
 - 農水
 - 工業用水
 - ２）渇水調整
 - 農業用水／工業用水との融通調整
 - ３）節水
 - ・啓発
- （３）環境
 - １）多自然型→近自然型川づくりへ
魅力ある川づくり
 - ・生態系
 - ・景観
 - ・川に学ぶ
 - 伝統的河川工法の見直しと活用
 - 天然材料の使用
 - ２）水質保全・水質管理・水質浄化
 - 河川法改正により国土交通省は水質保全に積極的に関わる必要がある。
 - 排水処理
 - ・ポイントソース対策
 - ・事業系排水
 - ・ノンポイントソース対策　生活排水対策
 - ・下水道・合併浄化槽・農村集落排水処理
 - ・合理的な下水道政策が必要～はやい・安い・きれい・住民合意
 - ・農業排水・ゴルフ場排水
 - ・農薬の規制
 - ・肥料流出防止
 - ダムの水質改善
 - 流水保全水路
 - 淀川流水保全水路をどうするのか？
 - 化学物質
 - ・微量有害物質
 - ・発ガン物質
 - ・環境ホルモン物質
 - ・遺伝毒性～変異原性
 - ・ダイオキシン
 - ルール　法規制／水質基準
 - 上下流住民・行政の連携システム構築による総合的水質改善策が必要
 - ３）水量確保
 - 河川維持水量
 - 水不足傾向の常態化→河床が変化しない（転石）・瀬・淵が形成されない。
 - ４）生態系　　これ以上（種）を絶滅させてはならない。
 - 生息環境の変化
 - 近年の環境の変化（例）稲作の時期の変化の生物への影響
 - 生物の変遷
 - 琵琶湖の生物と淀川水系の生物の関係
 - 琵琶湖・淀川水系の生物の特殊性認識・配慮
 - 現在残っている琵琶湖・淀川水系の固有種をこれ以上一種も絶滅させないための調査と対策。
 - 植物
 - ・河畔林
 - ・洪水の役割の評価
 - ・氾濫原管理　冠水しない高水敷・中流域の湛水化
 - 河道容量増加のための河床拡幅・掘削による水面低下

川上委員別シート4

- ・ドライからウェットへ
- ・希少植物 / 普通の植物についての考え方
- ・外来種対策
 - アレチウリの駆除
- 動物
 - ・魚・貝・甲殻類・水生昆虫
- ・表層水 / 底質の状態
- ・希少動物 / 普通の動物についての考え方
- ・魚道の改善・新設 回遊魚（遡上・降下）
 - ・堰の統合推進・最新の魚道設置
 - ・ダム其自然回復
 - ・ダム魚道 回遊魚（遡上・降下）の回遊確保
- 魚ののぼりやすい川づくり
- 堰
 - ・発電用の堰 / 農業用の堰
 - ・井堰の統合を推進し、新しい井堰に有効な魚道を設置
- 風景・景観
- (4) 産業・くらし
 - 1) 内水面漁業
 - ・生態系保護と河川の多面的活用から見た今後の内水面漁業のあり方
 - 2) ライフスタイルの転換
 - 3) 行政・住民の役割分担
 - 4) NPOとのパートナーシップ
 - 5) 市民の自律 / 自立
 - ・NPO支援
- (5) 流域
 - 1) 流域の土地利用のあり方の評価と見直し
 - ゴルフ場
 - 産業廃棄物処分場
 - ほ場整備
 - 畜産廃棄物
 - 住宅開発
 - ・水害防御の限界を明確にする。
 - ・ハザードマップによる住民への啓発
 - ・危険地域の建築規制・強制移住の検討
 - 2) 土地利用計画・都市計画
 - 3) 河川敷の利用
 - 自然のまま放置するかもしくは最小限の管理を行う地域
 - 自然公園
 - 五感で感じる川・川の自然性を感じることでできる公園
 - 原風景形成・原体験の場
 - 自然学習・体験学習
 - 都市公園
 - スポーツ施設
 - 河川本来のあり方から考えて邪道。
 - ・新たに作らない。広げない。
 - ・徐々に減らす方向
- (6) 砂防
 - 1) 土砂流出 9807 台風災害対策の遅れ（木津川上流）
 - 土砂管理 量と質
 - 砂防工法 土砂吐けスリット式堰堤
 - 植林（落葉樹）の推進
- (7) 森林
 - 1) 林業衰退による森林管理不能状態
- (8) 多面的利用・活用
 - 1) 河川環境教育・体験学習の推進
 - 川に学ぶ体験活動 総合的な学習・体験学習に活用
 - 子どもの心に原風景形成・原体験の場として河川を活用
 - 水辺の楽校

川上委員別シート5

- 子どもの水辺再発見プロジェクト
- 2) 舟運の復活
- 3) レクリエーション
- 4) 公園等整備・利用
- 5) 採草（ヨシなど有用植物）

川上委員別シート6

6) 流域住民・NPO・研究者・河川管理者の継続的交流・活動の推進のための「流域センター」の整備につ

事例：

～川センター

十勝川インフォर्मーションセンター（北海道開発局）

～川水辺プラザ

～川リバーミュージアム

～川フィールドミュージアム

琵琶湖・淀川水系における提案

木津川～上流・中流／下流に各1ヶ所

宇治川～瀬田川・宇治川で1ヶ所

桂川～1ヶ所

淀川～三川合流点または枚方に1ヶ所

琵琶湖～既設の施設活用

3. 問題点・解決すべき課題

(1) 民有地での耕作等に対する今後の方針

(2) 不法行為対策

1) 不法占用：不法耕作・工作物・不法係留などの排除

2) ゴミ不法投棄

(3) 草刈り後の処分方法

焼却不可

4. その他

(1) 河川の地方分権はどうなるのか？

(2) 市町村合併による変化は？